

## 公立大学法人宮城大学評価委員会 質疑事項

通し番号	対象項目	質問事項	法人回答
1	9	ハラスメント相談室は設けているのか、ハラスメント教育はどのように行っているか。(吉沢委員)	「公立大学法人宮城大学人権侵害の防止等に関する規程」に基づき、人権相談窓口を設け、教職員から構成する相談員を配置し、相談を行う体制としているほか、学外の相談窓口への相談も可能であることを周知している。これらを含め、入学時のオリエンテーション等で学生へのハラスメント教育を行っている。
2	11	日本で働きたい留学生の就職支援はどのように行っているか。(吉沢委員)	国際交流・留学生センターとキャリアインターンシップセンターCICのキャリア開発室が相談に乗り、個別の求人サポートは一般学生同様に、主にキャリア開発室が行っている。
3	18	秋のオープンキャンパスの来場が低迷したことの分析はどうか。(伊勢委員)	平成29年度の秋のオープンキャンパス来場の低迷は、前年度までの大学祭との同時開催を改め単独開催としたことに加え、当日の雨天や一部高校の試験期間・模擬試験と重なってしまったことによる影響と思われる。なお、夏に比べ秋のオープンキャンパスは来場者が少ない(1/5程度)ことと、秋開催で主な対象と想定していた高校1・2年生が夏開催にも積極的に参加していることが分かったことから、30年度のオープンキャンパスは夏に一本化した上で、内容を充実して実施することとした。
4	20	他大学との連携は、県立大学同士の連携が基本となるのか。(伊勢委員)	他大学連携について、本学の教学面でのニーズやシーズに適合するプログラムが組める相手であるかどうかを原則と考えており、連携先を県立大学に限定するものではない。 実際に、学都仙台コンソーシアムへの参加等を通じて、県内の他の国公立大学とも連携した取組(公開講座の実施等)を進めている。

通し番号	対象項目	質問事項	法人回答																																																																																																																																																									
5	23	職員, 教員の男女率, 職位別男女率はどうか。(吉沢委員)	<p>・職員の男女率及び職位別男女率 (平成30年5月1日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>役職</th> <th colspan="2">管理職</th> <th colspan="2">グループリーダー</th> <th colspan="2">その他職員</th> <th colspan="2">地域連携センター職員</th> <th colspan="2">総数(人)</th> </tr> <tr> <th>男女</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>男</th> <th>女</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内訳</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>2</td> <td>22</td> <td>20</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>41</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>(%)※</td> <td>(100%)</td> <td>(0%)</td> <td>(80%)</td> <td>(20%)</td> <td>(52%)</td> <td>(48%)</td> <td>(80%)</td> <td>(20%)</td> <td>(64%)</td> <td>(36%)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td colspan="2">7</td> <td colspan="2">10</td> <td colspan="2">42</td> <td colspan="2">5</td> <td colspan="2">64</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※男女率=内訳総数÷合計×100 少数点以下四捨五入</p> <p>・教員の男女率及び職位別男女率 (平成30年5月1日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学群/役職</th> <th colspan="2">教授</th> <th colspan="2">准教授</th> <th colspan="2">講師</th> <th colspan="2">助教</th> <th colspan="2">総数(人)</th> </tr> <tr> <th>男</th> <th>女</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>男</th> <th>女</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護学群</td> <td>4</td> <td>13</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>14</td> <td>11</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>事業構想学群</td> <td>20</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>30</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>食産業学群</td> <td>24</td> <td>1</td> <td>8</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>37</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>基盤教育群</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>10</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>52</td> <td>16</td> <td>22</td> <td>9</td> <td>3</td> <td>9</td> <td>11</td> <td>15</td> <td>88</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>(%)※</td> <td>(76%)</td> <td>(24%)</td> <td>(71%)</td> <td>(29%)</td> <td>(25%)</td> <td>(75%)</td> <td>(42%)</td> <td>(58%)</td> <td>(64%)</td> <td>(36%)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td colspan="2">68</td> <td colspan="2">31</td> <td colspan="2">12</td> <td colspan="2">26</td> <td colspan="2">137</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※男女率=小計÷合計×100 少数点以下四捨五入</p>	役職	管理職		グループリーダー		その他職員		地域連携センター職員		総数(人)		男女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	内訳	7	0	8	2	22	20	4	1	41	23	(%)※	(100%)	(0%)	(80%)	(20%)	(52%)	(48%)	(80%)	(20%)	(64%)	(36%)	合計	7		10		42		5		64		学群/役職	教授		准教授		講師		助教		総数(人)		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	看護学群	4	13	2	4	0	6	5	14	11	37	事業構想学群	20	0	8	0	0	1	2	0	30	1	食産業学群	24	1	8	3	2	1	3	1	37	6	基盤教育群	4	2	4	2	1	1	1	0	10	5	小計	52	16	22	9	3	9	11	15	88	49	(%)※	(76%)	(24%)	(71%)	(29%)	(25%)	(75%)	(42%)	(58%)	(64%)	(36%)	合計	68		31		12		26		137	
			役職	管理職		グループリーダー		その他職員		地域連携センター職員		総数(人)																																																																																																																																																
男女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女																																																																																																																																																		
内訳	7	0	8	2	22	20	4	1	41	23																																																																																																																																																		
(%)※	(100%)	(0%)	(80%)	(20%)	(52%)	(48%)	(80%)	(20%)	(64%)	(36%)																																																																																																																																																		
合計	7		10		42		5		64																																																																																																																																																			
学群/役職	教授		准教授		講師		助教		総数(人)																																																																																																																																																			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女																																																																																																																																																		
看護学群	4	13	2	4	0	6	5	14	11	37																																																																																																																																																		
事業構想学群	20	0	8	0	0	1	2	0	30	1																																																																																																																																																		
食産業学群	24	1	8	3	2	1	3	1	37	6																																																																																																																																																		
基盤教育群	4	2	4	2	1	1	1	0	10	5																																																																																																																																																		
小計	52	16	22	9	3	9	11	15	88	49																																																																																																																																																		
(%)※	(76%)	(24%)	(71%)	(29%)	(25%)	(75%)	(42%)	(58%)	(64%)	(36%)																																																																																																																																																		
合計	68		31		12		26		137																																																																																																																																																			

通し 番号	対象 項目	質 問 事 項	法 人 回 答
6	全体評価	<p>新カリキュラム導入初年度の分析はどうか。(伊勢委員)</p>	<p>新カリキュラムの導入初年度は基盤教育が殆どであり、分析としては授業評価の結果をもとに科目ごとに授業計画・運営、時間割編成、学習環境、事前事後学習等の項目別に評価・分析を進めている。分析の結果、フレッシュマンコアにおける少人数のグループ学習、ディスカッション等のアクティブラーニングの導入に関しては高い教育効果が得られたと評価できる。その一方で土曜日に集中開講した授業（地域フィールドワーク）については開講曜日等の問題が明らかになったことから、授業計画・開講曜日の変更等、改善策を策定し、本年度に実行している。また、科目分野別にFD等を実施し、テキストの更新や科目シラバスの見直しを押し進めている。</p> <p>学生の学修行動の経年での比較分析を進めるため、今年度から教学比較 IR コモンズによる学修行動調査を試行する。</p>